

大分県本部事業計画と
部門別実施具体策を
策定しました。

営農開発部

米穀園芸部

畜産部

資材部

管理部

九州広域
事業所

大分県本部令和2年度事業計画
【令和2年度】部門別実施具体策

P1・P2

米穀園芸部園芸販売課と
資材部生産資材課の部門間連携による
取り組みが県本部長賞に輝きました。



P3

令和元年度下期
県本部表彰式がおこなわれました。

JR 大分駅に
フラワーアレンジメントを
展示しました。



P4

大分県内の14の駅と大分空港に
フラワーアレンジメントを展示して
利用客に県産花きをPRしました。

4月に就任した藤田明弘県本部長が
職員にメッセージを送りました。



P3

令和2年度の年度初め式が
おこなわれました。

退職者の方々、
ありがとうございました。



P3

定年退職者送別式がおこなわれました。

福岡大同青果(株)の
事務所玄関にも
飾っていただきました。



P4

農水省庁舎や福岡大同青果(株)などの
関係機関にも大分県産花きの展示を
おこないました。

Contents

特集 1

- ・大分県本部令和2年度事業計画
- ・【令和2年度】部門別実施具体策

ピックアップニュース1 3

- ・令和2年度の年度初め式が
おこなわれました。
- ・令和元年度下期県本部表彰式が
おこなわれました。
- ・定年退職者送別式がおこなわれ
ました。

ピックアップニュース2 4

- ・需要喚起で大分県農畜産物の
消費拡大へ！

トピックス 5

- ・人事異動について
- ・大分県本部機構図

消費者に食材の使い方を伝え、
消費拡大を目指します。



P4

県本部ホームページで県産野菜を使った
レシピ集を公開しました。

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全国農業協同組合連合会
大分県本部

大分県本部令和2年度事業計画

県本部基本方針

3か年計画(令和元年度～3年度)の2年目となる令和2年度計画は、自己改革の取り組みを加速するとともに、「5年後、10年後を見据えた本会のめざす方向」を具現化するため、全農全体の5つの最重点事業施策を基本とした具体策を引き続き実践します。

稼働2年目となる「大分青果センター」では、効率的な物流体制の整備に加え、九州地区における広域的なストックポイント機能発揮に向けた検討をすすめます。

生産振興においては、「九州ブロック労働力支援協議会」を活用した労働力支援の強化や、「スマート農業」をはじめとしたICT等を活用した実証、水田・未利用農地等への園芸品目導入支援など、JA・行政等関係機関と連携した取り組みを拡充していきます。

最重点取り組み事項

事業名	取組内容
共 通	1. 労働力支援の取り組み拡充と部門間連携の強化 2. 「県域担い手サポートセンター」との連携による出向く体制のさらなる強化 3. 消費者に直接訴求するeコマースや飲食店舗を軸とした直販事業の拡充 4. 農業ICTを活用した実証など生産振興に資する新たな取り組み
米 穀	1. 生産者にメリットのある米穀事業方式の展開と集荷数量・買取販売の拡大 2. 業務用需要に対応した多収性品種の作付提案による契約的栽培の拡大
園 芸	1. 「大分青果センター」の安定稼働による効率的な物流体制の整備 2. 「おおいた園芸・未来プロジェクト会議」による水田・未利用農地等への園芸品目導入支援
畜 産	1. 「おおいた豊後牛」「おおいた豊美牛」のPR強化・ブランド力の向上・販路拡大 2. 関係機関と連携した生産基盤維持の取り組み
生産資材	1. トータル生産コスト低減に向けた省力・低コスト資材等の普及・拡大 2. 農家手取り最大化に向けたモデルJA・経営体との取り組みの水平展開 3. 将来を見据えた事業体制整備の検討
ガ ス	1. エネルギー事業における事業体制整備の検討

県本部

eコマース事業の拡充や、生産振興による面積拡大を見越した園芸事業における増加等を見込み、612億円を計画します。

(単位:百万円、%)

事業	2年度計画	30年度実績	実績比
営農開発部	1,325	826	160
米穀園芸部	27,514	24,930	110
畜 産 部	18,432	18,898	98
資 材 部	8,648	8,622	100
広域事業所	5,326	4,759	112
合 計	61,245	58,035	106

【特記事項】

経営計画に記載している金額は、以下の基準で表示をしています。

1. 消費税については、税抜表示です(以下同じ)。
2. 端数処理については、取扱高は四捨五入、取扱高以外は切り捨て表示としており、合計等が一致しないことがあります(以下同じ)。
3. 実績比については、四捨五入で表示をしています(以下同じ)。

【令和２年度】部門別実施具体策

営農開発部

営農対策課

- 「おおいた園芸・未来プロジェクト会議」を核とした水田・未利用農地等への園芸品目導入による生産拡大へ向けた取り組み
- 「九州ブロック労働力支援協議会」と連携した労働力支援の取り組みの拡充と産地振興
- TACおよび県域担い手サポートセンターと連携した出向く体制の強化
- 残留農薬分析・土壌分析診断をはじめとした食の安全確保・高品質生産に向けた取り組み

直販課

- eコマース事業(ふるさと納税、JAタウン等)の拡充および大分県産飲料の推進強化
- 直営飲食店舗「カフェ&ダイニングみのりみのる」の情報発信力の強化
- 全農グループ一体的な商品開発および販売チャネルの開拓

米穀園芸部

米麦課

- 生産者にメリットのある米穀事業方式(出来秋一括方式、集荷後価格決定方式、都度買取方式等)の展開および取扱数量の拡大
- パールライス卸など主要パートナー卸と連携し、実需者まで結びついた県産米の直接販売の拡大と安定的取引の確保
- 需要に応じた生産と業務用多収性品種等の作付提案による契約的栽培の拡大
- 県行政等と連携した麦・大豆における単収ならびに品質向上の取り組み

園芸販売課

- 「大分青果センター」を活用した産地と消費地を効率的につなぐ物流体制整備
- パートナー市場と連携した青果物直接販売の拡大
- 海外輸出における新規輸出先の確保・拡大

畜産部

畜産課・食肉販売課

- 各種事業やJAグループ大分独自対策の活用による基盤維持・拡大支援
- 飼養管理技術指導や既存購買者との取引強化および新規購買者の開拓による家畜市場取引の安定化
- 「おおいた豊後牛」のブランド力向上・販路拡大および交雑牛ブランド「おおいた豊美牛」のPR強化による取扱拡大
- 外食業態等を通じた県産豚肉・鶏肉の販路拡大
- 『全国和牛能力共進会』種牛の部日本一」をふまえた販促活動の実践による「おおいた豊後牛」の認知度向上および「肉の日」等のイベントを通じた消費拡大の取り組み

資材部

肥料農薬課・生産資材課・農業機械課

- トータル生産コストの低減に向けた肥料の銘柄集約・共同購入トラクターの推進・段ボール箱の規格集約等の取り組み
- 肥料満車直送や農薬担い手直送規格の普及・拡大、農機レンタルの拡充などの省力・低コスト資材の推進強化
- 労働力支援と連携した農作業支援の検討や農業ICTを活用した実証試験の実践、TACと連携した推進体制の強化

ガス課

- 保安指導の計画的実施によるJAグループのLPガス保安体制強化
- 光合成促進機設置等による営農用エネルギーの取り組み強化

管理部

- 広報誌やホームページ、各種メディアを通じた自己改革の取り組みの見える化
- SR活動強化による農業および本会・JAグループの認知・理解度の向上
- 総代巡回説明や県本部運営委員会などを通じて会員JAの意見を汲み上げる現場に根ざした事業運営
- 重点管理すべきリスクへの対応や一斉事業点検を基点としたコンプライアンス態勢の維持・強化
- 人材育成への取り組み強化と業務の標準化・効率化に向けた態勢づくり

九州広域事業所

施設

- 地域に適した農業施設等産地インフラの整備、再編の支援
- 組合員が所有する戸建住宅を対象としたリノベーション等の提案

石油

- 石油供給体制維持を目的としたマスタープラン実践とSS運営力強化
- 営農用燃料油(免税軽油・農林漁業用A重油)の新規利用拡大

生活

- 「JAくらしの宅配便」を活用した全農ブランド商品・エコーマーク品など国産農畜産物を主原料とした商品の供給拡大
- JA葬祭事業の基盤強化、各種研修会によるJA葬祭のレベルアップ
- 農泊事業開始に向けての体制整備および他部門との連携強化

ピックアップニュース 1

令和2年度の 年度初め式が おこなわれました。

令和2年度の年度初め式が4月1日におこなわれました。

新しい年度の始まりにあたり、4月に就任した藤田明弘県本部長が「令和2年度も引き続き、自己改革の加



職員にメッセージを送る藤田明弘県本部長



佐土原斉副本部長

速化と5つの最重要事業施策の着実な実践に向け、各部門が組み立てた行動計画を確実に実行してほしい。また、農家組合員が誇りと意欲をもって生産に打ち込める、そういう提案をJ Aグループから発信することが重要。」と職員にメッセージを送りました。

また、同じく4月の定期異動で副本部長に就任した佐土原斉副本部長が「本会の事業遂行にあたっては、会員J Aや行政の協力無くして成立しない。組合員のためにできることは全ておこなっていく。」と決意表明しました。

令和元年度下期 県本部表彰式が おこなわれました。

4月1日に、令和元年度下期の県本部表彰式がおこなわれました。

米穀園芸部園芸販売課と資材部生産資材課の部門間

連携による取り組みが県本部長賞に輝きました。

部門間連携により推進を強化することで、系統外農家を全量系統出荷へ切り替え、大分県産トマトの販売力強化につなげたことが高く評価されました。

受賞者を代表して、園芸販売課の協谷職員が「販売先の確保に苦労したが、部門間で連携して販路拡大に努め、販売することができた。

令和2年度も引き続き、農家の所得向上・満足度向上に取り組み内容の説明と今後の意気込みを語りました。

功労賞の受賞部門と受賞内容は以下のとおり。

【営農開発部営農支援検査センター・直販開発課】

▽大分県初となる「お茶のJ G A P 団体認証」の取得を実現し重点販売先を確保した。

【米穀園芸部米麦課・資材部肥料農薬課】

▽系統未利用農家への多収性品種推進をおこない契約栽培の拡大により系統全体の販売力強化に貢献した。

【資材部肥料農薬課】

▽J Aと連携し系統未利用農家等への推進を強化し系統利用の拡大および農家との信頼関係構築を実現した。



左から：米穀園芸部米麦課 衛藤調査役、営農開発部営農支援検査センター 中村審査役、米穀園芸部園芸販売課 協谷職員、資材部肥料農薬課 内藤職員 ※令和元年度の所属

定年退職者送別式が おこなわれました。

3月31日に定年退職者送別式がおこなわれました。

長きにわたり、県本部事業の発展に貢献されてきた退職者の方々、ありがとうございました。



【退職者（左から）：朝倉 毅、日隈 寿、立脇 恭司、後藤 恒司、小川一男運営委員会会長、長野 博文、小橋 信敬、佐々木 俊一、鶴見 孝】

ピックアップニュース2

需要喚起で大分県農畜産物の消費拡大へ！

J A全農おおいたでは、新型コロナウイルスの感染拡大によって消費が落ち込んでいる大分県産の花きや野菜の消費拡大を目指し、関係機関と連携して消費者へ向けたPRを実施しています。



JR大分駅にフラワーアレンジメントを展示しました。

卒業式や送別会の中止で消費が落ち込む県産花きの消費拡大を目指し、県内ラジオ番組で県産花きのプレゼント企画を実施しました。市場出荷箱入りのスイートピー約100本やランタンキュラス、カスミソウをリスナーにプレゼントしました。

その他にも、大分県内の14の駅と大分空港にフラワーアレンジメントを展示して利用客に県産花きをPRしたり、県本部事務所をはじめ、農水省庁舎や福岡大同青果(株)などの関係機関にもご協力いただき、大分県産花きの展示をおこないました。



福岡大同青果(株)の事務所玄関にも飾っていただきました。



県本部玄関にスイートピーを展示しました。



県本部の各フロアにも飾り付けました。



農水省庁舎に各県の花きを展示しました。

大分県は「スイートピー」「ランタンキュラス」「カスミソウ」を展示しました。



県産野菜は暖冬の影響による消費の低迷に追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの感染拡大によって、飲食店で需要の高い大葉やみつばなどの消費が減少しています。J Aグループ大分ではJ A職員自ら大分県産野菜(大葉・みつばなど周年野菜6品目)の詰め合わせを購入するなど消費拡大に取り組みしており、大分県・大分市の職員の方々にも協力していただきました。

また、消費者へ県産野菜を使った料理を紹介するために、J A全農おおいたのホームページでレシピ集を公開しています。



大分県産野菜の詰め合わせをPRする園芸販売課の疋田勝己職員

人事異動について

大分県本部

令和2年4月1日付 異動発令名簿

氏名	新職務	現職務
藤田 明弘	県本部長	副本部長
佐土原 斉	副本部長	営農開発部長
庄 不二夫	本所グループ会社統括部グループ会社監査課兼コンプライアンス推進課	管理部長兼コンプライアンス推進課長
日野 秀文	管理部長兼コンプライアンス推進課長	管理部次長兼企画管理課長
岩田 聡	営農開発部長	資材部長
伊藤 雅巳	資材部 ガス課	管理部付外向 全農パールライス(株)西日本事業部大分支店
衛藤 嘉雅	営農開発部 直販開発課	米穀園芸部次長(米穀担当)兼米麦課長
河野 勝	資材部 生産資材課	資材部次長兼生産資材課長
中村 奨	管理部 総務課	営農開発部 営農対策課 営農支援検査センター長
松本 邦博	資材部長	資材部 農業機械課長
赤嶺 錠二	米穀園芸部次長(米穀担当)兼大分県園芸振興基金協会事務局長	本所 業務監査部 内部監査課
鈴木 康進	米穀園芸部次長(園芸担当)	米穀園芸部 次長(園芸担当)兼大分県園芸振興基金協会事務局長
後藤 和彦	資材部次長兼生産資材課長	米穀園芸部 園芸販売課長
河津 信太郎	管理部付外向 JA北九州ファーム(株)	管理部付外向 ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)
衛藤 誠	管理部付外向 ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)	本所 暮らし支援事業部 九州生活事業所 大分推進課長
木下 雅之	管理部付外向 大分県農業協同組合中央会	管理部 総務課
渡邊 剛志	管理部 企画管理課長	営農開発部 直販開発課
穴本 新司	米穀園芸部 米麦課長	米穀園芸部 米麦課
新本 真二	米穀園芸部 園芸販売課長	米穀園芸部 園芸販売課 福岡事務所長
山村 有司	資材部 農業機械課長	米穀園芸部 園芸販売課 大阪事務所
橋本 隆治	米穀園芸部 園芸販売課	資材部 肥料農薬課
奥田 泰嗣	営農開発部 営農対策課 営農支援検査センター長	本所グループ会社統括部 グループ会社監査課
松本 宏行	米穀園芸部 園芸販売課	本所耕種資材部 農業機械課 九州広域部品センター
山下 克也	資材部 農業機械課	管理部付外向 ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)
菅原 大樹	営農開発部 直販開発課 兼 カフェ&ダイニングみのりみの大分店所長	営農開発部 直販開発課
安仲 崇	米穀園芸部 園芸販売課 福岡事務所長	米穀園芸部 園芸販売課
足立 秀治	畜産部 畜産課	米穀園芸部 米麦課
岡部 浩	本所 耕種資材部 農業機械課 九州広域部品センター	米穀園芸部 園芸販売課
繁田 光喜	管理部付外向 ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)	資材部 生産資材課
廣石 真朋	管理部付外向 大分県農業協同組合	管理部 コンプライアンス推進課
野田 健人	米穀園芸部 園芸販売課 大阪事務所	米穀園芸部 園芸販売課 大分青果センター
八坂 和樹	米穀園芸部 園芸販売課	資材部 農業機械課

採用発令名簿 (令和2年4月1日付)

氏 名	コース	配属部署
谷崎 凌	総合職(大分)	米穀園芸部 園芸販売課 大分青果センター
田中 康之	総合職(大分)	畜産部 畜産課
一法師 菜穂	総合職(大分)	資材部 肥料農薬課

退職発令名簿 (令和2年3月31日付)

氏 名	所属部署(退職発令時)	発令内容
長野 博文	県本部長	定年退職
後藤 恒司	米穀園芸部 米麦課	定年退職
立脇 恭司	全農本所 グループ会社統括部 グループ会社監査課	定年退職
日隈 寿	畜産部 畜産課	定年退職
朝倉 毅	JA北九州ファーム(株)	定年退職
小橋 信敬	資材部 ガス課	定年退職
佐々木 俊一	畜産部 畜産課	定年退職
鶴見 孝	ジェイエイ北九州くみあい飼料(株) 東部支店大分営業部	定年退職
大城 千明	畜産部 畜産課	依願退職

大分県本部機構図

令和2年4月1日現在



カフェ & ダイニング みのりみのる

CAFE & DINING MINORI MINORU

大分県産食材をふんだんに使った料理をお楽しみください。



大分県産鶏のとり天



大分県産ぶりのブリカツ



大分県産牛のビーフカツレッツ



大分味一ねぎ豚丼



ベリーツワンプレート



ベリーツタルト



ベリーツスムージー

※この他、多彩なメニューがございます。

アミュプラザおおいた1F 営業時間 10:00~22:00 L.O 21:00(フード)、21:30(ドリンク)
TEL 097-535-8623 17時以降のご予約お受けいたします。